

りんご栽培情報 第1号

令和6年3月18日
J A アルプス
富山県富山農林振興センター

1 概況

園芸研究所果樹研究センター（魚津市）では、「ふじ」の開花始め（連続して1～2花開花した日）を4月20～21日（R5：4月11日、R4：4月20日、R3：4月13日、平年値4月22日）と予測しています（3/15現在）。

今後は、開花期に向けて、病虫害防除や管理作業を計画的に実施しましょう。

なお、開花予測は今後の気温に大きく左右されます。現時点の予測より早くなることも想定し、作業を進めてください。

2 病虫害防除（成木基準）

近年、カイガラムシ類の被害が増加傾向にあります。この対策として、トモノールS 50倍の散布を徹底してください。

回	時期	対象病虫害	使用農薬	希釈倍率	100ℓ当たり 必要薬剤量 ※1
1	3月下旬 (発芽前～ 芽出直前直後)	カイガラムシ類、ハダニ類	トモノールS	50倍	2 ℓ
2	4月上～中旬 (発芽2週間後)	黒星病、斑点落葉病	アントラコール顆粒水和剤	500倍	200 g
		ハマキムシ類、ケムシ類	ファルコンフロアブル	6,000倍	16 ml
			マイリノー	20,000倍	5 ml
3	4月中下旬 (開花直前)	黒星病、赤星病、うどんこ病	インダーフロアブル	10,000倍	10 ml
		黒点病、褐斑病	トレノックスフロアブル※2	500倍	200 ml
			マイリノー	20,000倍	5 ml

※1 散布量 1回目:300ℓ/10a、2回目以降:500ℓ/10a

※2 トレノックスフロアブルは結実に影響するので、開花が進んだ状態での散布は控える。

3 いぼ皮・粗皮削り

主枝や側枝の**いぼ皮は、放置しておく**と**果実の輪紋病の伝染源**となりますので、粗皮削りやいぼ皮の多い側枝の除去に努めましょう。また、粗皮の下には、カイガラムシ類やシンクイムシ類、ハダニ類等が潜んでいます。粗皮削りは、これら越冬害虫の密度低下に効果がありますので、前年に発生が多かった園地では積極的に実施してください。

なお、いぼ皮を削った所には塗布剤（トップジンMペースト等）を塗布してください。

農薬散布にあたっては、周辺の他の作物や民家に薬剤が飛散しないように十分注意してください。